

基本計画をテーマとした市長と話す車座会議の概要

1 目 的

- ・平成 21 年 2 月に決定した「基本計画骨子案」を、新市長の方針等を踏まえ見直しを行うにあたり、改めて市民意見をお聞きするために実施した。
- ・具体的には、①基本計画とは何かを共有する、②横須賀に対する思いを共有する、③お互いに何ができるかを共有する、という 3 つの『共有』を切り口に、意見交換を行った。
- ・計画の策定にあたっては、これまでも「アンケート」や「ヒアリング調査」、「広報等による意見募集」など、様々な方法で市民意見の把握に努めてきたが、今回は、市長自らが各地域に出向き、市民との直接対話により生の声を聞くことを重視した。

2 開催結果

11 会場で 727 人の参加があった。

	場 所	開催日	時 間	参加者
1	西行政センター	10 月 15 日 (木)	19 時～20 時 30 分	81 人
2	北下浦行政センター	10 月 16 日 (金)	19 時～20 時 30 分	59 人
3	久里浜行政センター	10 月 17 日 (土)	13 時 30 分～15 時	92 人
4	浦賀行政センター	10 月 21 日 (水)	19 時～20 時 30 分	84 人
5	大津行政センター	10 月 22 日 (木)	19 時～20 時 30 分	66 人
6	ヴェルクよこすか 6 階ホール	10 月 26 日 (月)	13 時 30 分～15 時	31 人
7	逸見行政センター	10 月 27 日 (火)	19 時～20 時 30 分	59 人
8	田浦行政センター	10 月 28 日 (水)	19 時～20 時 30 分	47 人
9	追浜行政センター	10 月 29 日 (木)	19 時～20 時 30 分	41 人
10	衣笠行政センター	10 月 30 日 (金)	19 時～20 時 30 分	118 人
11	総合福祉会館 5 階ホール	10 月 31 日 (土)	13 時 30 分～15 時	49 人

3 会場で出された主な意見

(1) 政策分野別

- ・全会場で出された意見は、221 件に及んだ。
- ・政策分野別に 15 項目に分類した中で最も多かった意見は、「集客・定住」に関するもので、人口減少への不安を背景に、集客のための地域の魅力づくりや具体的な観光客誘致策、定住促進のための公共交通の利便性の向上を図るべきであるなどの意見があった。
- ・2 番目に多かった意見は、「財政」に関するもので、危機的な財政状況に対して、もっと市民に情報提供すべきこと、改善のためのビジョンを示すべきであるとの意見が多かった。

- ・ 3番目は「自然環境」に関することで、重点政策として「水と緑に親しめるまち横須賀」に賛同するとの意見が多く述べられる一方、現実には近年、開発が随所で見られることや開発途中でストップしている現場に対する窮状を訴える意見もあった。
- ・ その他では、学校の空教室の活用を進めるべきことやボランティアなどの体験学習も大切であるとの意見が聞かれた。
- ・ また、基本計画の策定がホームページのトップから見られないなどの具体的な指摘もあった。

政策分野別の意見の内訳

No.	分類	件数(件)	No.	分類	件数(件)
1	自然環境	17	9	学校教育	11
2	地球環境問題	7	10	地域経済・雇用	14
3	高齢者福祉	4	11	集客・定住	29
4	障害者福祉	10	12	コンパクトシティ	2
5	生きがい	4	13	市民参加	2
6	防災・防犯	16	14	地域自治活動	13
7	医療体制	3	15	財政	25
8	子育て	8	16	その他	56
				合計	221

(2) 骨子案等への対応

- ・ 全意見の内3割は、具体的な事業レベルの提案として、実施計画や現在並行して策定を進めている「みどりの基本計画」などの分野別計画、今後予定されている「財政白書」などを策定する際の参考とさせていただくものだった。
- ・ また、同程度に国や県・事業者への要望を主な対応とする意見や、実現が不可能と思われる意見などがあり、「意見として伺ったもの」とさせていただいた。
- ・ 基本計画案に対しては、既に施策の考え方が盛り込まれている意見が37件あったが、骨子案を修正すべき意見はなかった。
- ・ 一方、計画案の策定の際に参考とさせていただく意見は20件あった。
- ・ 主な内容は、少子高齢化がすすむ中で、高齢者の方々が生き生き働き、収入を得て生きがいを感じることができる環境をつくるのが大切であり、それは将来の財政負担を軽減することにも通ずるという考え方。
- ・ 原子力空母や基地施設に対する市民の不安に対して、しっかりとした対策をとるべきことや国に対して地域経済の活性化に向けた要望をしっかり行っていくなどの記載の検討。
- ・ 医療体制で、病診連携や医療と介護の連携などの記載の検討。
- ・ 子育て、教育で、あいさつやマナーの大切さ、ふるさと意識の醸成、子どもが伸びる教育の必要についての記載の検討。
- ・ 自治基本条例の制定や行政センターの機能強化などが位置付けられる新たな柱の検討。
- ・ 計画の策定に関して、政策の優先順位の明確化や、実践的な計画であるために柔軟性のある計画にすることの検討。
- ・ 「共利・共栄」の考えを重要な視点とし、事業等の検討を行うこと、などであった。

意見に対する対応の内訳

No.	分 類	件数(件)
1	意見を踏まえ修正するもの	0
2	計画原案を策定する際の参考とするもの	20
3	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とするもの	64
4	事業の実施や見直しの参考とするもの	14
5	質問事項と捉え回答するもの	21
6	既に基本計画に盛り込まれているもの	37
7	意見として伺ったもの	65
合計		221

4 意見箱等に出された主な意見

- ・ 会場で意見を聞くほか、行政センターと本庁舎（都市政策研究所）に意見箱を置き、意見を伺った。その他、ファックス、Eメール、手紙などにより寄せられた意見は 232 件にのぼった。
- ・ 意見の内容は、会場で出された意見と同様の傾向であったが、計画原案に参考とするとした意見の中には、ないものねだりをするよりは現在ある人、もの、金などのリソースを生かす。特に市民の知をネットワークして活用するなど重要な意見をいただいた。

No.	分 類	件数(件)	No.	分 類	件数(件)
1	自然環境	8	9	学校教育	4
2	地球環境問題	8	10	地域経済・雇用	20
3	高齢者福祉	10	11	集客・定住	15
4	障害者福祉	9	12	コンパクトシティ	1
5	生きがい	3	13	市民参加	4
6	防災・防犯	10	14	地域自治活動	6
7	医療体制	4	15	財政	17
8	子育て	2	16	その他	111
合 計					232

No.	分 類	件数(件)
1	意見を踏まえ修正するもの	0
2	計画原案を策定する際の参考とするもの	12
3	実施計画や分野別計画を策定する際の参考とするもの	53
4	事業の実施や見直しの参考とするもの	22
5	質問事項と捉え回答するもの	10
6	既に基本計画に盛り込まれているもの	19
7	意見として伺ったもの	54
車座会議に関する意見		62
合計		232